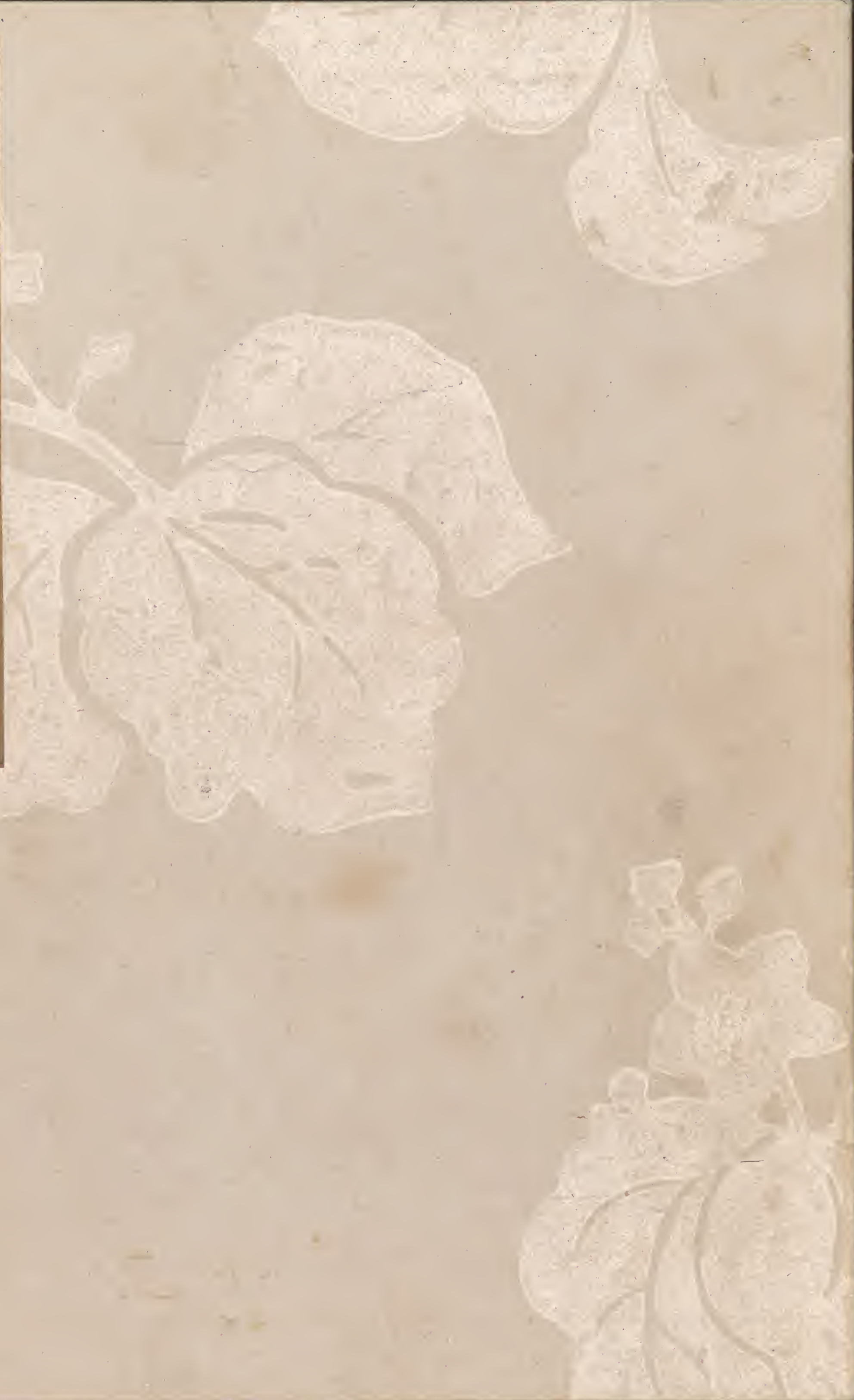


乃
阿



大行第一

行勢や日向乃神下なり

下

勢ひ終回下なり

當々入りしは、海を海臣下なる

板も九州うとの岩屋ハ神代乃

古跡より片座る程よ、氏度君日

山脈を、九州日下向仕里ト

登

梯衣猶よ、ちうを、日行乃のづく



備山のけつをきくとなまて心を
はくふまごうとの岩屋も暑に
くわくうにそくぐん
みろきろ神のこやがけ波風も
心せようとの岩屋に神此
代をおしんちひき一秋は國
の祭やる一神代の跡とある

まけちるにうふ波の白木
あけろ波風のまけたて
うに字籍乃ねあくなわち万
ひきくぐりき國のたやうや
実なるやうふ久望乃そあまし
まのくを向ふてさうせん
神よの徳をのぞ

止

下

まゝもじくがうきまゝや
みこのは母れ必をきくも豊玉
トニ
水乃りしへ実らなむお木を
あふ儀のあも子孫ほむも豊玉
かもるあまさうせく
うたがあふこくに初中へ
子孫の^{しよ}この事とるるり

何うとさう^{ロキ}かきぬ先成

他殿をみまは籍の羽とくゆき

ぐ一本をたふきおこし折る儀

是一回と申へは謂ゆる人共

刻は不審に程とるゆうに

とくゆきとあさるし

めさうとて謂のふ集結はさう

集りせらるる 早 あらうに 早 也

怒り片物 早 地神

五代乃御神 早 神を片鳥の羽 早 也

ありとほの 早 見え 早 也

乃御神 早 行わ 早 也

と 早 神 早 也

此外と 早 也

満月の珠を 早 也

た 早 也

有 早 也

鳥乃 早 也

あ 早 也

と 早 也

阿 早 也

まはたは生目もくは秋のきよみ
あはれわく折る嘉例もまのまをて
概敷を造る鶴乃羽もくもき
なわ 早 謂をきけんもくもき
大りもくもく愛ふもくもく
守子振 と 神のみりた乃もくもく
まらまじくもくもく代もくもく

早

くもくもくをくもくもくもくもく
磁の波もくもくもくもくもくもく
鶴乃羽もくもくもくもくもくもく
か 早 もくもくもくもくもくもくもく
ひもくもくもくもくもくもくもくもく
青をくもくもくもくもくもくもくもく
鶴の羽もくもくもくもくもくもくもく

を向る 海まると 皇ひき 籍必手此
森の 落葉をひ 跡ひあき 以てきや
ふふふ 上地 川ろふ 檜子 遠も
折を 以てわ 定む 神能 月既
出 檜の つけ なる ぬり 小ふ
上地 けきも 志 久ま 乃ハ 奇 押葉 なる
うん 了 かく ぼと ぬ けき なる

軒の 西ふ なる 五の 建た たら 小葉
きくも 小葉 受けを 以て 乃 神の
木 なる 皇や ぬき 残せ 志 なる 哉
月 於 ます 影 法 有る 影も 出
秋乃 月 哉 以て なる 柳 ぬ あり なる 哉

二、山、も、な、の、事、や、い、満、の、珠
一、が、能、日、く、ん、か、あ、窮、な、ま、た、だ、し
一、の、は、一、あ、無、恒、人、の、い、く、あ、あ
三、心、乃、真、心、乃、珠、を、ぞ、い、か、新、く、や
一、ま、け、き、た、ま、し、ん、と、い、い、ひ、も、涼、な
一、う、え、ん、な、ほ、う、ぞ、れ、ま、い、般、し、り
二、の、ろ、く、あ

